

# 第一節 指導内容

## 第二項 知的障害のある自閉症の子どもの教育課程の編成

知的障害のある自閉症の子どもの教育課程の編成について考えるためには、まず、知的障害のある子どもの教育課程の編成について十分理解することが必要です。この項では、知的障害のある子どもの教育課程について整理し、知的障害のある自閉症の子どもの教育課程編成の方途について述べます。

### 1. 知的障害のある子どもの教育課程

知的障害養護学校学習指導要領に示される各教科の内容は社会生活に必要な内容であり、子どもが自立し社会参加するために必要な具体的な指導内容を設定することができるようになっていきます。また、実際の授業では、各教科、道徳、特別活動、自立活動のそれぞれの時間を設けて指導する授業である「教科別の指導、領域別の指導」と、各教科、道徳、特別活動、自立活動の全部又は一部を合わせて指導する授業である「領域・教科を合わせた指導」が実施されています。「教科別の指導、領域別の指導」と「領域・教科を合わせた指導」は、各教科等の内容を指導するときの形態を示しているため、一般に指導形態として括られています。

「領域・教科を合わせた指導」には、「日常生活の指導」「遊びの指導」「生活単元学習」「作業学習」があるといわれています。「領域・教科を合わせた指導」は、単に領域や各教科の内容を合わせるのではなく、知的障害のある子どもの教育的対応の原則である「生活に結びついた実際の具体的な活動を学習活動の中心に据え、子どもにとって自然で必要性のある具体的な経験を通して学習すること」を具現化するために工夫された指導方法だといえます。また、「教科別の指導」においても、教科の内容の系統性を意識しながらも子どもたちの生活の力となり日常生活を豊かにする指導になることが重視され、「生活単元学習」等と関連した内容を扱うことが多く行われています。関連した内容を扱うことで、自然で必要性のある具体的な学習活動になりやすくなります。関連した内容を扱わない場合でも、子どもにとって自然で必要性のある具体的な経験を通して学習するよう配慮して指導することが大切です。

知的障害養護学校の授業では、「領域・教科を合わせた指導」が主として行われており、指導内容と授業時数だけでなく、指導形態を明示しなければ、実際の学校の教育計画を示したことになりえません。従って、知的障害養護学校では、教育目標、指導内容、授業時数に加えて、指導形態毎の年間指導計画を含めて教育課程としてとらえられることが多くなっています。

### 2. 知的障害のある自閉症の子どもの教育課程編成の実際

知的障害のある自閉症の子どもの教育課程の編成では、知的障害のある自閉症の子どもの指導内容の整理がポイントになると考えられます。

指導内容に関して、知的障害のある子どもが自立し社会参加していくため必要な指導内容と

## 第一節 指導内容

知的障害のある自閉症の子どもが自立し社会参加していくため必要な指導内容に、どのような違いがあるのか、これまで検討されてきていません。従って、知的障害養護学校の指導内容を整理しつつ、知的障害のある自閉症の子どもへの指導内容を整理することが取り組まれています。

文部科学省研究開発学校の鳴門教育大学附属養護学校は、自閉症の子どもには「社会での自立を阻害する特有の要因がある」と考え、自閉症の特性に応じた教育内容と方法を検討しています。その結果、自閉症の特性に応じた自立活動の内容には現行の自立活動の内容区分の示し方では明確になりにくい内容があり、新しい区分として偏った社会性の発達に対応した「社会とのかかわり」を提案しています。また、その内容項目として「社会生活を送る上で必要となる能力に関すること」、他の区分から移動する項目として「状況に応じたコミュニケーションに関すること」「対人関係の形成と基礎に関すること」を提案しています。

国立久里浜養護学校は、知的障害のある自閉症の子どもへの指導内容として、想像性、社会性、コミュニケーションの障害にアプローチする内容として「自律生活」、一人で自立的にできる活動を増やし、個別の課題学習の般化を目指した「自立課題」を整理しています。

### 3. 知的障害のある自閉症の子どもの教育課程編成の課題と方途

教育課程の編成では、指導内容の整理が取り組まれていることを紹介しましたが、知的障害養護学校では指導形態の検討も必要になります。

#### (1) 指導内容の整理

前述のように、知的障害養護学校の各教科の内容は社会生活に必要な内容であり、子どもが自立し社会参加するために必要な具体的な内容を設定できるようになっています。知的障害養護学校の各教科の内容と自立活動の内容の関係について、学習指導要領解説－自立活動編に、「知的発達の遅れに応じた各教科等の指導のほか、そのような随伴してみられる顕著な発達の遅れや特に配慮を必要とする様々な状態についての特別な指導が必要であり、これを自立活動で指導することとなる」と整理されています。従って、知的障害のある自閉症の子どもへの「社会生活を送る上で必要となる能力に関すること」の内容を自立活動の独立した内容として整理するか、各教科に含まれる内容として整理するか、他の領域と合わせて新たな指導領域として再構築していくべきか、これまでの実践を整理しながら、今後の実践によって検討していくべきだと考えられます。

これまで、知的障害のある子どもへの指導内容を次に紹介するように「生きる力」や「自立していく力」の観点から整理することが試みられています。他の領域と合わせて新たな指導領域として再構築していくことを考えるとき、参考になると考えます。

新潟大学人間科学部附属養護学校は、表1に示す「自立につながる力の内容表」を提案しています。

## 第一節 指導内容

表1 自立につながる力の内容表（新潟大学教育人間科学部附属養護学校）

観 点	内 容
豊かな情操で意欲的に生活する力【豊かな心】	興味・関心を持つ,豊かに感じたり表現したりする,目的・見通しを持つ,向上心を持つ,穏やかに過ごす
安全に気を付け,健康な体で生活する力【健康な体】	体を動かす,体を清潔にする,健康に気を付ける,安全に気を付ける
日常生活動作を自分で行う力【日常生活動作】	食事をする,排泄をする,身なりを整える,整理・整頓をする,形・色・文字・記号・数などを活用する
周囲の人と意思を伝え合う力【コミュニケーション】	自分の意思を表現する,他者の意思を理解する
周囲に人と円滑にかかわる力【集団生活】	人に関心を示したり親しみを感じたりする,集団活動に参加する,協力する,決まりやマナーを守る,周りの人に気を配る
地域・経済にかかわる生活に必要な力【地域資源の利用】	お金を大切に扱う,いろいろな施設などを利用する,身近な交通機関を利用する
生活を楽しむ力【余暇】	一人で余暇時間を楽しむ,人と一緒に余暇時間を楽しむ
家事や労働を営む力【家事・労働】	家事に関することに取り組む,働く,自分の適性を理解する

また、北九州市立八幡西養護学校は、生活単元学習の指導内容の枠組みとして表2に示す「将来につながる経験内容表」を提案しています。

表2 将来につながる力の内容表（北九州市立八幡西養護学校）

領 域	小 学 部	中 学 部	高 等 部
身近な人との接し方	身近な人たちとのかわり,遊びのルール,あいさつ	地域の人たちとのかわり,あいさつ,身だしなみ	地域への参加,交際,身だしなみ
公共物の利用	交通機関の利用,公共施設の利用	交通機関の利用,公共施設の利用	交通機関の利用,役所や公共施設の利用
生活と消費	買い物	買い物	買い物,金銭管理,娯楽施設の利用
情報の伝達	手紙,電話の利用	手紙,電話,ファクスの利用	手紙,電話,ファクスの利用
季節と生活	季節の変化と生活	季節の変化と生活	季節の変化と生活
家庭の仕事	簡単な調理,掃除,洗濯	簡単な調理,掃除,洗濯	簡単な調理,掃除,洗濯

## 第一節 指導内容

第一章の「知的障害のある自閉症の子ども」で述べたように、知的障害の定義は、適応スキルの内容に焦点をあてて教育することの必要性を示しています。AAMR（The American Association on Mental Retardation アメリカ精神遅滞学会）の提言する適応スキルの構成は、指導内容を整理する観点として考えることができると考えられます。

各教科、道徳、特別活動、自立活動の内容をこれらの観点を参考にして再編成し、指導内容を整理し、組織することが、知的障害のある自閉症の子どもが自立し社会参加していくために必要な指導内容を整理することにつながると考えられます。

### (2) 指導内容の選択と組織及び指導形態の検討

国立久里浜養護学校では、「自律生活」の内容を「宝探し」「まねっこ」「戸外学習」等の形態で指導することが試行されています。知的障害のある自閉症の子どもが自立し社会参加していくために必要な指導内容を整理しつつ、効果的な指導になるよう指導内容の選択と組織をし、指導形態の在り方について実践によって検討していくべきだと考えられます。



#### 文献

北九州市立八幡西養護学校（1997）生活単元学習資料集．

鳴門教育大学附属養護学校（2003）自閉症の児童生徒のための指導プログラムの開発．

新潟大学教育人間科学部附属養護学校（2003）自立につながる力の内容表Ver.5．

#### 国立特殊教育総合研究所文献

国立特殊教育総合研究所（1988）自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究．特別研究報告書．

石塚謙二（2004）知的障害養護学校の教育課程の現状と課題．国立特殊教育総合研究所プロジェクト研究報告書「21世紀の特殊教育に対応した教育課程の望ましいあり方に関する基礎的研究」．